



悩みごとや困りごとはありませんか？



鹿児島地方法務局／鹿児島県人権擁護委員連合会

はじめの問題が依然として大きな社会問題となっています。鹿児島地方法務局及び鹿児島県人権擁護委員連合会では、はじめや体罰、児童虐待などの人権侵害から子どもたちを守るため、人権

相談・人権啓発活動に取り組んでいます。

法務省の人権擁護機関では、身近な大人に相談できずにいる子どもたちの悩みごとを的確に把握し、学校及び関係機関と連携を図りながら、様々な人権問題の早期発見及び解決に当たることなどを目的として、平成18年度から「子どもの人権SOSミニレター」（便箋と料金受取人払の封筒が一体となったもの）事業に取り組んでいます。子どもの人権問題に関する専用相談ダイヤル「子どもの人権110番（フリーダイヤル）」を設置し、平日の午前8時30分から午後5時15分まで、法務局職員又は人権擁護委員が対応しています。また、法務省ホームページ上に「インターネット人権相談受付窓口（SOS eメール）」を開

設し、インターネットでも人権相談を受け付けています。さらに、若い人の利用が多いSNS（LINE）を活用した人権相談についても、九州では福岡県内の相談のみ受け付けていましたが、本年10月から九州全域に拡大されます。人と面前で

相談することや電話で話すことが難しいなど、これまで相談できなかった

方、ぜひこれらの相談窓口にご相談下さい。インターネットは、誰もが情報を送受信できる気軽で便利なメディアとして、私たちの生活に欠かせないものとなっています。

私たちは、携帯電話会社と連携した「スマホ・ケータイ安全教室」を県内中学校で実施しています。正しい利用方法や危険性について理解し

てもらい、トラブルへの適切な対処方法を周知することにより、生徒のインターネット利用環境の向上とプライバシー保護に取り組んでいます。

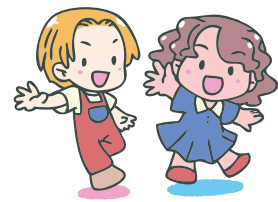
情報を送受信できる気軽で便利なメディアとして、私たちの生活に欠かせないものとなっています。



子どもの人権SOSミニレター（中学生用）表面

相手の立場を考え認め合い 励まし合えろ生徒の育成

指宿市立西指宿中学校



指宿市の中心地から北西に位置する本校は、全校生徒61人の小規模校です。本校は、学校教育活動の柱の一つに人権教育を据え、様々な活動に取り組んでいます。令和3年度は鹿児島県教育委員会の推進事業である「子どもの人権プロジェクト」の協力を校として活動しました。

① 人権教育の充実

人権教育の充実のため、人権学習を始め教科・道徳の授業等、全教育活動を通して取り組んでいます。特に、毎月25日を入権について意識して考え

行動する日として「西中ニコニコデー」を設定し、各月目標に沿った取組を全校生徒・職員で行っています。また、12月の人権週間においては、毎年、多様性トレーナーの高崎恵氏（オフィスピエア所属）を講師としてお招きし、生徒・保護者を対象に人権教育講演会を実施しています。人権教育講演会では、生徒が抱えている課題を題材に、構成的グループエンカウンターや話し合い活動を取り入れたワークショップ型で行い、よりよい人間関係を構築する一助となりました。また、本中学校区の一つである指宿市立池田小学校でも同日に同講師による人

② 子どもの人権プロジェクトについて

県人権同和教育課の吉満ふくみ指導主事に年三回ご来校いただき、「わたしたいせつ」をテーマに、ストレスへの対処法やアンガーマネジメント、SOSの出し方や受け止め方についてご講演講義いただきました。生徒たちには、講演で教えていただいた「きき気付けてよ（寄り添い）（受け止めて）（信頼できる大人）（つなげよう）」の合言葉

③ おわりに

本校では、生徒たちの実態把握を行うために「学校たのしい」と等のアンケートや教育相談を定期的に実施しています。また、学校便りや学校ブログを通して、学校の様子や生徒たちの輝いている姿を地域・保護者へ積極的に発信しています。今後も学校・保護者・地域が一体となり生徒たちの成長を見守り支援する体制作りを更に推進してまいります。

（教頭 西元淳二）



子どもの人権プロジェクト（講演会）の様子



人権教育講演会時の様子